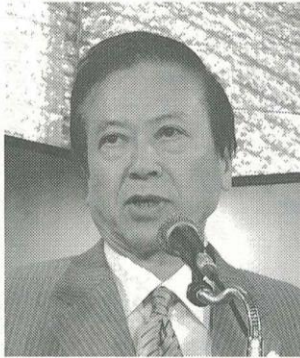


# 小川会長・清水名誉会長が続投

## 国家財政・予算運営の見える化と人的鎖国からの脱却

「国民の生活・生命を守る」を使命とする国民生活産業・消費者団体連合会（小川賢太郎会長・㈱ゼンショーホールディングス会長兼社長、以下「生団連」）は6月13日午後、ホテルニューオータニ（都内千代田区）で「平成30年度定時総会」を開催。改選期を迎えた今定時総会において、小川会長、清水信次名誉会長（フアウンダー初代会長）が再任、新理事に佐藤聡司氏（生団連事務局長）が就任。定時総会終了後の「平成30年度定時総会記念パーティ」は、会員企業・団体をはじめ、衆・参両院議員、関連企業などから約1100人が出席し、盛大に開催した。



小川会長が平成30年度事業計画を説明する様子。左側には清水名誉会長も同席している。

定時総会の役員改選では、小川会長・清水名誉会長の再任と佐藤新理事の就任、所属団体・企業役員異動に伴う生団連

特別会計合算ベースの見える化の「人的鎖国」からの脱却、外国人労働者の受け入れ体制の構築を重点課題に挙げて審議。これら2点を国民の生活・生命に関わる諸課題と位置付け、この解決に向けた活動と組織力を強化することが決承認された。

### 生団連定時総会

ティでは、冒頭、小川会長が「国には、生団連が重点課題に掲げた『財政の見える化』を進めて欲しい。企業でいえば、年に4回連結業績を公表する。国も特別会計を含んだ連結業績の中身を、国民に分かりやすく公表すべきである。民主主義の基盤である国民的な合意が最も大切なこと」と国民（納税者）の消費抑制

先人の轍を踏まない  
外国人労働者の受け入れ制度を

また、国内の人口減少・超高齢化問題について人や物がグローバル化している中、「人的鎖国」は止めたい。77種の技能実習生という枠組みだけでは限界が来ている。外国人労働者の問題は移民問題と直結する。用が済んだら国に帰れば、日本が国際社会から尊敬されない。例えば、外国人労働者の子供に日本語で義務教育を受けさせる義務を負わせ



るルール・制度など、国民的な議論や意見の集約が重要となる。ドイツにおけるトルコ系移民のように、母国語しかしゃべれない者がハンディキャップを負い、失業率が上がった途端、犯罪でメシを食う集団に化した。世界各国の経験を踏まえたうえ、生団連としても抜本的な制度構築に寄与したい」と話し、外国人労働者の日本社会での共生を視野に入れたルールづくり・制度の確立・整備に向け提言した。

次に、来賓の福井照内閣府特命大臣、山口那津男公明党代表の挨拶に続き、司会者が河野太郎外務大臣からの祝電を披露。続いて、生団連副会長の谷茂岡正子氏特定非営利

活動法人東京都地域婦人団体連盟会長、高橋幸一氏（公益社団法人札幌消費者協会会長）、柿沼トミ子氏（埼玉県地域婦人連合会会長、阿南久氏（一般社団法人消費者市民社会をつくる会代表理事）の4氏が登壇。谷茂岡副会長による乾杯の発声で開宴。途中、小池百合子東京

都知事、黒岩祐治神奈川県知事などからの祝電披露のほか、梶山弘志内閣府特命大臣、坂井学総務副大臣兼内閣府副大臣、中根一幸外務副大臣、渡嘉敷奈緒美環境副大臣、小淵優子衆議院議員など多数の国会議員を交えて歓談の輪が広がる中、司会者の進行で閉会。

【交代役員】（敬称略）  
副会長 中家徹（全国農業協同組合中央会会長）、小濱裕正（日本チーンストア協会会長）  
常務理事 岡本均（伊藤忠食品㈱社長）、矢野靖二（㈱大創産業社長）、久野貴久（日清オイリオグループ㈱社長）、的楚朗一（日本水産㈱社長・C

EO）、畑佳秀（日本ハム㈱社長）、石垣幸俊（ブルドックソース㈱社長）、吉永智征（㈱Mizkan社長・CEO）、京谷裕（三菱商事㈱常務・生活産業グループCEO）  
理事 杉江俊彦（㈱三越伊勢丹HD社長・CEO兼CDTO）、牛腸栄一（㈱ロッテ社長）